

## 相武台神社で「どんど焼き」が行われました



1月10日（土）に、相武台神社恒例の伝統行事である「どんど焼き」が行われました。

納められていた「松飾り」や「お札」は、一点一点氏子委員により不燃物が選別され、焼却物が「いろり」の中央に積み上げられ、四隅に清めの塩を置き、散酒の儀式を行った後、年男の方の手で、「火入れ式」が行われました。

当日は風が強かった為、「いろり」から火の粉が飛び上がらないように注意しながらの「どんど焼き」となり、お待ち頂いた親子連れなどの

方々に、団子の串刺しが渡され、年神様の神火で焼いてもらいました。その後も「松飾り」や「お札」を持った方々が続々と訪れ、参加者は300人以上と年々増えており、伝統行事を楽しんでもらいました。

また、訪れた方々には「甘酒」と「豚汁」と「ポップコーン」が振る舞われ、あったかくておいしそうに飲んだり食べたりしていました。最後は消防団員の手で慎重に消火してもらって、正月最後の神事を何事もなく、無事に終了することができました。

## 地区社協主催の「健康講座及び熟年者演芸カラオケ大会」が開催されました

相武台地区社会福祉協議会は2月7日（土）に、相武台老人憩いの家において、55歳以上の方を対象とした「健康講座及び熟年者演芸カラオケ大会」を開催し、小雪が舞うあいにくの天候にも拘わらず、関係者を含めて34名の方々が参加されました。

第一部は「健康講座」で、木村良子先生を講師として、約1時間にわたって、体を動かしました。先生のユーモアあふれるトークに乗って、頭を使う動きや5曲もの歌に合わせた動きもあり、皆さん楽しんで体を動かしていましたが、結構動き疲れになってしまいました。

第二部は「熟年者演芸カラオケ大会」で、全員の合唱で始まり、詩吟や途中にハーモニカ演奏や座間音頭の踊りを挿んで、8人の方に日頃歌い慣れた自慢の喉を披露して頂き、最後にも全員で合唱して終わりました。

そして、帰りにはお好きな花鉢を選んで持って帰ってもらいました。

